



2016年度 訪問介護サービス提供責任者スキルアップ研修会

開催報告

主催：東京都生活協同組合連合会

目的：介護をおこなうにあたり、アセスメント（情報収集及び分析、評価）は利用者やご家族を理解するために大変重要です。介護を取り巻く環境も悪化し、現場での対応が難しくなっている現状があります。介護の基本であるアセスメントを昨年に引き続いて学び、サービス提供責任者として日頃の実践に活かせる研修としました。

2016年度 訪問介護サービス提供責任者スキルアップ研修会
「訪問介護計画作成のためのアセスメント」
東京都生活協同組合連合会

日時：2016年11月18日（金）
10時～16時30分
会場：東京都生協連会館 3階会議室
講師：山本 かの子氏
（ケアワークラボやまもと代表）
参加者：24名（8生協、事務局3名）

会話の中にヒントがあるので、メモを取る事でポイントが掴め、ポイントを絞る事に繋がります。

講師：山本 かの子氏 初めに山本先生から、今日の研修では介護のノウハウよりも、考え方を身に付けて下さいと話されました。居宅サービス計画書は、利用者がしたい生活を援助の方針のもとに、長期・短期目標を立てるものですが、訪問介護では、利用者の支援の一部しか出来ない。利用者が「何でそうしたいのか」要点を捉える事が大切です。私たちのアセスメント力で利用者さんとの信頼関係が変わってきます。サービスの内容のみでプランを作らない事も重要です。利用者が一番近くにいるのが、ヘルパーさんです。計画書をもとに担当者会議では、対等に話せる場でありたいものです。介護計画書の作成は介護保険法で規定されているものです。利用者へ介護計画の説明をする時は、わかりやすい言葉で丁寧に話すこと、時間や金額など数字の説明は重要です。訪問介護計画には、アセスメントシートを基に、具体的に何が必要かを記入します。本人が気づいていない「要望」を引き出すことも重要です。利用者さんとのコミュニケーションでは、関心を引き出すために雑学も大事。利用者さんに対しては、常に疑問を持ち、丁寧に対応し、仕事である事を自覚しましょう。



★ タイムスケジュール ★

10:00 開会
10:10 研修開始

✿ 講義

「訪問介護計画作成のためのアセスメント」

12:00 昼食休憩
13:00 グループワーク
16:00 修了式
16:20 開会挨拶
16:30 終了

進行：蛭田 悠
東京保健生協



開会挨拶：高橋 亮
西都保健生協

アセスメント：介護福祉分野に於いて、介護過程の第1段階で、利用者が何を求めているか正しく知り、それが生活全般の中のどんな状況から生じているか確認する事、援助活動前に行われる評価。利用者の問題の分析から援助活動の決定までをさし、援助活動に先だって行われる一連の流れをいう。

情報収集⇔整理・統合⇔分析は常に一緒になっている。
情報収集 「何故?」「どうして?」という思いを常に持ち、仮説を立てられるよう知識を持つ事が大事。家族も含めた生活全般を対象に、住環境も把握し、ここに至る経緯に着目し、「どのように」、「どんな風に」を把握する。初めてサービスに入った時の状況をしっかりと把握しておくこと、家の中の配置を把握し、小さなところも観察しておく。

整理・統合 自分一人の考えでまとめない、思い込みはせず、疑問点は必ず確認・気づき、解決、確認を大切にその人を取り巻く環境を理解する
分析 想像力を働かせ、私たちはその人が望む生活を支援するための支援者であるという自覚を持つ。

ジェノグラムとエコマップ 書く技術を身につけるとその人の家族関係やその人を取り巻く地域との関わりが見やすくなるだけではなく、情報量が増える。

事例をもとにグループごとに話しました



情報が細かくわかってくると、プラン、人の配置が変わって来る



自己覚知

自分と向き合う事が不可欠：立ち止まる・振り返る・人の意見を聞く・基本に立ち戻り、私は誰に対して、何を
する人かを常に考える。

ひとり一人、千円・五千円・一万円札を書いてみました



実物より小さく書いてしまった人はお金の価値を過少判断しているかも!?利用者の中で「〇円しかない」という言葉を使ってしまうことはありませんか?お金の価値は人によって違います。

2つの
想像力（考える）と創造力（具体的に作る）がある

利用者さんが生きてきた時代を知る事で、その人の価値観を理解する一助になり、認知症状の方の理解にもつながる

法制度上、できること／できないことがある事をキチンと伝える。必要ならできるようにする方法を考える。

自分の価値観と向き合う。

受講生の皆さん



閉会挨拶
松本 和子
実行委員長



ふりかえり

昨年は山本先生にお願いし「訪問介護計画作成のためのアセスメント」についてお話し頂きました。介護職の基本中の基本である「アセスメント」は学ぶ度に重要性に気づきます。今回も昨年、参加出来なかった方から多くの要望があり、山本先生にお願いしての研修となりました。日頃から、わかってはいるけれど改善出来ない、自分目線で見えてしまう等、受講生にとっては耳の痛い事でしたが、1番大切であることを再認識する事が出来たようでした。質問等多岐に渡って出されましたが、先生が1つ1つ丁寧に応えて下さって、受講生個々の自信に繋がった研修になりました。研修終了後、東京都生協連会館内にあるグループホーム、サービス付き高齢者住宅の見学を行いました。専門職として、利用者さんを生活の視点から観ている事がわかりました。アンケートからは、学ぶ事の大切さ／自分の価値観の押しつけはしない／広い視野を持つ／お互いの意見が聞けた等が出され、学びの多い研修会となりました。